

七戸町水道施設の耐震化状況のお知らせ

七戸町水道事業は、平成20年度に町内に複数存在した水道事業を1つの上水道に統合して新たに認可を受けました。

『安全で安心な水道水を安定供給できる持続可能な水道』を目標として「七戸町地域水道ビジョン」を平成21年度に策定し、水道施設の耐震化を進めています。

みなさんの生活にかかすことができないライフラインの1つである水道施設の七戸町における耐震化への取組み状況は次のとおりとなっています。

●配水池の耐震化状況について

配水池は水道水を安定供給するための重要な施設であり、災害時においても必要な水を確保できるように整備することが求められます。

七戸町の各浄水場に設置されている配水池は、平成21年に改正された「水道施設耐震工法指針」で定める最も高い耐震基準のレベル2を満たしている配水池が1カ所のみであり、耐震化率は低いものとなっています。

七戸町では、基準を満たしていない配水池については補強工事を随時行うほか、効率的な更新を行うよう整備方針を定めています。

現在の配水池の耐震化状況は次のとおりです。

施設名	容量 m ³	形状	耐震基準	緊急遮断弁
高区配水池No.1	102	地下式 R C	—	無
高区配水池No.2	408	地上式 P C	レベル1	無
低区配水池	809	半地下式 R C	—	無
見町配水池	643	地上式 P C	レベル1	無
鷹巣配水池	292	地下式 R C	—	無
天間林第1浄水場配水池No.1	750	地上式 P C	レベル1	有
天間林第1浄水場配水池No.2	1,000	地上式 P C	レベル2	有
天間林第2浄水場配水池	541	高架式 P C	レベル1	有

☆配水池の役割とは？

配水池とは、みなさんの家庭などに届く前の水道水を一時的に溜めておく施設です。

水道の使用量は1日の中でも時間帯や、また季節によっても変化します。

いっせいに水を使い水道使用量が多くなる朝、夕方などの時間帯でも安定して水道水を供給するために水を溜めておく施設です。

●水道管の耐震化状況について

七戸町では、口径 150mm以上の老朽化した水道管の更新時や、新たに水道管を埋設する場合に耐震機能のある管（ダクティル鋳鉄製耐震継手管）を採用して水道管の耐震化を進めています。

また、口径 100mm以下の水道管の更新時などにおいても耐震性能のある管を採用して耐震化を進めています。

平成24年度からは新たにライフライン機能強化等事業をスタートさせ、基幹となる配水管で地震により大きな被害を受けやすい石綿セメント管を優先的に更新し、災害時にも被害が少なくなるよう配水管の強化をはかっています。

令和3年度3月末現在における導水管、送水管、配水管の延長及び耐震化率は次のとおりです。

◎導・送水管		
導・送水管延長	耐震管延長	耐震化率
19,318m	5,147m	26.6%

◎配水管		
配水管延長	耐震管延長	耐震化率
257,687m	36,683m	14.2%

- ☆1 耐震管とは？
耐震管とは、管と管を繋ぐ継ぎ手部分に伸縮性や離脱を防止する機能を有しており、地震や地盤沈下などによる地盤変化に対処できる構造になっている水道管のことを言います。
- ☆2 導水管とは？
取水場から浄水場まで水道水のもととなる水(原水)を送る水道管のことを言います。
- ☆3 送水管とは？
浄水場で浄水処理された水道水を配水池まで送水する水道管のことを言います。
- ☆4 配水管とは？
配水池に一時貯留した水道水を各家庭などまで送る水道管のことを言います。